News Release

2026 年 11 月 13 日

東急不動産株式会社
小田急不動産株式会社
東急株式会社

登戸駅前再開発から生まれる、未来資産を育む住まい

住宅部分の名称を「ブランズタワー登戸」に決定

～駅徒歩 1 分・デッキ直結、緑を日常に取り込む地上 38 階の住宅商業一体型複合開発タワー～

東急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：田中 辰明、以下「東急不動産」）、小田急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区、取締役社長：五十嵐 秀）および東急株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：堀江 正博）を事業者として推進する「登戸駅前地区第一種市街地再開発事業」において、住宅部分の名称を「ブランズタワー登戸」（以下「本物件」）に決定しましたので、お知らせいたします。

本物件は、小田急線「登戸」駅 徒歩 1 分・JR 線「登戸」駅 徒歩 2 分、駅デッキ直結の地上 38 階・総戸数 442 戸の住宅商業一体型複合開発タワーです。都心へ軽快にアクセスできる利便性と、生田緑地・多摩川を身近に感じる豊かな自然環境を併せ持つ登戸駅前において、日常の快適さはもちろん、自然と親しむ時間、災害時の安心、将来を見据えた管理運営までを一体的に備えた、分譲マンション「BRANZ（ブランズ）」が考える「未来資産」を提案します。

BRANZ が考える「未来資産」とは、変化する暮らしや社会課題に向き合いながら、住み続けるほどに日々の安心・快適・つながりを育んでいく住まいの価値です。本物件では、駅前立地がもたらす日常の利便性や、自然と親しむ豊かな時間に加え、災害時にも暮らしを守り、住み続けられるための防災計画を構築し、タワーレジデンスに求められる防災力を備えます。

オフィシャルサイトは 2026 年 11 月 13 日（金）に開設します。



建物外観（イメージ）

■一歩先を生きるライフスタイル「GREEN BOBOS」都心を身近に、リトリートを日常に

本物件は、「ブルジョワ」と「ボヘミアン」を組み合わせた言葉である「BOBOS（ボボス）」の考え方を取り入れています。「BOBOS」とは、2000 年代初頭に米国で生まれたライフスタイル概念です。

都市の利便性や刺激を享受しながら、自然やゆとりある日常を選ぶ暮らし方を表し、「どう生きるか」「何を選ぶか」を重視しながら、都市の洗練、自然、創造性、文化的な豊かさを大切にする価値観です。

都心へ通勤・通学しやすい利便性を享受しながら、生田緑地と多摩川を身近に感じる豊かな自然環境の中で暮らすことができる登戸。本物件では、この考え方に環境や未来への視点を重ねた「GREEN BOBOS」という暮らしを提案します。

平日は駅前から都心へ軽快にアクセスし、休日には多摩川沿いを散策する。生田緑地で自然に触れ、家族や仲間とピクニックやデイキャンプを楽しむ。利便性と自然のどちらかを選ぶのではなく、すべてを自分らしく享受しながら、新たな価値を創造していく。環境や未来への視点を持ち、一人ひとりが自分らしく、持続的な豊かさを育んでいける場所を目指します。



■“利便性”を叶える「登戸」駅徒歩 1 分×駅デッキ直結の超高層複合開発タワー

地上 38 階・総戸数 442 戸の本物件は、小田急線・JR 線が利用できる「登戸」駅前に立地します。新宿駅まで直通 20 分、大手町駅まで 34 分、川崎駅まで直通 31 分でアクセスでき、都心方面・川崎方面への通勤・通学にも便利な立地です。

また、本物件は駅デッキと接続しており、駅と住まいをスムーズにつなぐ動線を確保します。建物内にはスーパーマーケットなどの生活利便施設を計画しており、日常の暮らしをサポートします。さらに、駅周辺に集積する多様な利便施設とともに、快適な生活を営むことができます。

駅に近いことで、移動を快適にするだけでなく、家族と過ごす時間や自分らしく過ごす時間を生み出すことにもつながります。本物件は、駅前再開発ならではの利便性を通じて、暮らしの時間価値を高めます。



建物外観（イメージ）

■“豊かな暮らし心地”を叶える 住宅共用空間およびソフトサービス

本物件の 5F にある住宅エントランスのコリドー空間は、“GREEN”をコンセプトに光井純 アンド アソシエーツ 建築設計事務所株式会社（JMA）と株式会社 DAISHIZEN／SOLSO のデザイナー2 社の協業で表現・昇華していきます。JMA は外観・ランドスケープデザインも担当しており、SOLSO は東急不動産が広域渋谷圏で展開する商業施設 東急プラザ原宿「ハラカド」や職住遊の複合施設「Forestgate Daikanyama(フォレストゲート代官山)」のランドスケープおよびグリーンデザインも担っています。



住宅エントランス（イメージ）

また、建物最上階となる 38 階には、“SKY”をコンセプトとした共用部を設けます。都心や多摩川方面へ広がる眺望を楽しみながら、BBQ などを通じて、家族や仲間との豊かな時間を過ごすことができる空間を計画しています。また同フロアには友人・家族をもてなす場として、眺望を美しく見せるように構成したゲストルームも設けます。



屋上階（イメージ）



ゲストルーム（イメージ）

さらに本物件では、BRANZ で初めてアウトドアブランドの「Snow Peak」監修による各種サービスを提供予定です。Snow Peak 監修の共用備品の貸し出しに加え、シェアサイクルやカーシェアなどの共用モビリティを導入。ピクニックやデイキャンプを通じて、周辺の豊かな自然環境を楽しめる暮らしを提案します。

また、株式会社スノーピーク（Snow Peak）および株式会社スノーピークビジネスソリューションズ監修による入居者向けイベントの実施も予定しています。多摩川や生田緑地など身近にある自然を「眺める」だけでなく、「使いこなし、楽しむ」。住まいを起点に、入居者が自然と親しめる環境を整えてまいります。

なお、東急不動産とスノーピークビジネスソリューションズは、「東急ハーヴェストクラブ浜名湖」において、企業向けにアウトドアでの研修プラン「キャンピングオフィス浜名湖」で協力しています。

その他、本物件では非常時に備え、「共有防災備蓄倉庫」のほか、災害への備えを身近なものとするためにデザインされた「専有防災備蓄倉庫」を導入します。

大きな地震が発生した際には、安全確保のためエレベーターが停止し、再稼働まで時間を要する場合があります。そのような状況も想定し、各住戸に備蓄品を保管できる専有防災備蓄倉庫を設けることで、必要なものを身近に備え、宅内での避難を継続しやすい環境を整えます。



専有防災備蓄倉庫（イメージ）

ブランズタワー登戸がめざす未来資産

① 時間を生み出す資産

駅徒歩 1 分・駅デッキ直結／小田急線・JR 線の 2 路線利用／新宿、大手町、川崎方面へのアクセス／商業施設・スーパーマーケット等による日常利便

② 心身の豊かさを育む資産

生田緑地、多摩川を身近にする立地／「GREEN BOBOS」という暮らしの提案／SOLSO による緑を取り込んだ共用空間／Snow Peak 監修の備品・イベント・モビリティ活用

③ 非常時にも暮らしを守る資産

専有防災備蓄倉庫／共有防災備蓄倉庫

■周辺地図



■「ブランズタワー登戸」物件概要

所在地	神奈川県川崎市多摩区登戸９０街区の一部（地番）
交通	小田急小田原線 「登戸」駅 徒歩 1 分、ＪＲ南武線 「登戸」駅 徒歩 2 分
構造・規模	鉄筋コンクリート一部鉄骨造 地上 38 階・地下 1 階建
総戸数	442 戸（地権者住戸 82 戸含む）
間取り	1LDK~4LDK
住戸専有面積	43.04 ㎡~145.30 ㎡
敷地面積	5,950.53 ㎡
用途地域	商業地域　都市計画区域内（市街化区域）
竣工時期	2029 年 9 月（予定）
引渡時期	2029 年 12 月（予定）
設計	＜施設建築物＞：株式会社東急設計コンサルタント(基本設計) INA 新建築研究所・前田建設工業設計共同企業体(実施設計) ＜ペデストリアンデッキ＞：株式会社ネイ＆パートナーズジャパン
監理	INA 新建築研究所・前田建設工業設計共同企業体
施工	前田・大末特定建設工事共同企業体
外観・インテリア・ ランドスケープデザイン	光井純 アンド アソシエーツ 建築設計事務所 株式会社
インテリアデザイン	株式会社 DAISHIZEN／SOLSO
売主	東急不動産株式会社 小田急不動産株式会社 東急株式会社